

新聞づくりを通して海と島でできた日本を学ぼう！



# うみやまかわ新聞

『うみやまかわ新聞』は、小学校高学年生(主に5～6年生)を対象にしたアクティブ・ラーニングのモデルカリキュラム。2014年にスタートして以来、14地域・10校・244人の子どもたちが学んでいます。郷土愛を育む総合的な学習に最適な「新聞づくり」の手法で、自らが暮らす地域について学び、インターネットを活用して他地域の子供たちとの交流を図ります。地域教育・キャリア教育・コミュニケーション教育として、地域の未来を担う子どもたちが「多面的・総合的にものごとを見て、考える力」「自然や人とのつながりを尊重する心」「情報の基本知識(メディアリテラシー)」などを学び、「地域への愛着や誇り」「自らの言葉で思いや考えを伝える姿勢・技術」を養うことのできる、教育プログラムを導入しませんか？

地域の未来を担う子どもたちの教育に  
ICTを活用しながら「地域を知り、考え、伝える」  
プログラムを導入しませんか？

## テレビ電話会議システムによる授業

年間授業時間は20時間。授業ではインターネットを使ったテレビ電話会議システムを活用し、離島経済新聞社が授業や進行サポートを執り行います。



## グループワーク中心の授業

子どもたち自身の「気づき」に重点を置くため、授業ではグループワークを繰り返し実施。自分の地域について、考え、調べ、話し合い、知識や思いを深めます。



## 子どもたちによる取材・原稿制作

離島経済新聞社サポートのもと、取材や原稿制作は子どもたちが行います。地元で活躍する大人への取材は、子どもたちが地域とつながるきっかけとなります。



## 他地域の子供たちとの交流体験

プログラムの過程では、同じプログラムに参加する他地域の子供たちとの交流体験も実施。テレビ電話会議システムを活用して、自己紹介や発表を行います。



お問い合わせはこちらまで

導入対象：小学校・自治体・地域活動を行う団体など

導入例：小学校の総合学習時間内で実施、地域の課外活動として実施など

次回実施期間：2017年4月～2018年3月

導入費用やスケジュールなど詳細やご相談など、お気軽にお問い合わせください。

『うみやまかわ新聞』事務局

TEL：03-5432-9831(10:00～17:00)

Mail：umiyamakawa@ritokei.com